

# 日本沙漠学会 2020 年度総会

(2020 年 5 月 18 日 (月) 学会 HP およびメールにて開催) \*

## 次 第

開 会

会長挨拶

議長選出

議 事

1. 2019 年度事業報告・決算報告・会計監査報告
2. 2020～2022 年度日本沙漠学会役員選出結果の報告  
および新規役員の提案
3. 2020 年度事業計画 (案)・予算 (案)
4. 学会賞審査報告
5. その他

閉 会

\* : 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う特別措置.

総会は、HP 上での開示を以って開会とし、採決終了を以って閉会とします。この度の総会はオンライン開催のため、議長選出は省略いたします。

質疑応答期間 : 2020 年 5 月 18 日 (月) ～5 月 29 日 (金)

ご意見、ご質問は [jaals@kyouritsu-online.co.jp](mailto:jaals@kyouritsu-online.co.jp) までお寄せください。

投票期間 : 2020 年 6 月 1 日 (月) ～6 月 5 日 (金)

<https://forms.gle/SZGT8zUpp3peB3LE8> にアクセスし、投票をお願いします。

## 会長挨拶

昨年5月に30年記念大会を開催し、日本沙漠学会は次の10年に向けて新たな歩みを始めました。その1年目の総括をさせていただくのが今年の総会です。しかし、今般の新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、これまでと同様の方法での開催は断念せざるを得ませんでした。一方、非常の時ではありますが、こういう時であるからこそ、学会活動を停滞させてはならないと判断し、大変変則的で、前例のない形ではありますが、HPとメールを使って総会を開催させていただくことといたしました。どうぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

学术界を取り巻く環境は年々厳しさが増しております。研究費はイノベーションやアウトリーチがないと獲得できなくなっております。世知辛いという言葉がぴったりです。沙漠学が応用科学である限り、社会に還元できる成果は必要ですが、それだけを過剰に求める昨今の風潮は肯んじ得ないものがあります。ノーベル賞の研究にさえ何に役立つかを問うのがご時世だとすると、日本の科学の将来に大きな禍根を残すこうした流れに棹さすことを是とせず、抗議の声を上げる時かも知れません。

その科学の将来を展望しようとした時、若い科学者が安心して研究ができる場を見つけにくくなっていることは由々しき事態です。獮のように夢を食って生きていきたいと願って科学者を目指したはずですが、いつの間にか背中にあったはずの好奇心と冒険という名の向こう見ずな羽根は打ち枯れてしまっています。そんな背中を見せては、先達を足場にして飛び立つ若鷹は育ちません。彼らの研究活動とその将来設計を支援できる場として学会は立ち上がる時ではないでしょうか。

日本沙漠学会を発展させるには、より内容のある、質の高い論文を投稿してもらえようとして学会誌の評価を上げなければなりません。さはさりながら、研究をインパクトファクターで評価することがどれほど客観性を欠くことか、今更ここで述べるまでもありません。その行為が学会の本質のある面で貶め、変質させる危険がある事は重々承知の上で、なお進めていく使命が現在の学会にはあります。この自己矛盾をどのように止揚するのかを問う時です。

日本沙漠学会は夢のような研究を、そして研究に夢を懸けた人々の成果を発表する場としてこれからの10年を進んでいきます。是非皆様のご支援と奮起をお願いします。

なお、昨年の活動結果と次年度の活動計画につきまして、会員の皆様から直接ご意見をいただけないのは、返す返すも残念です。ご不便をおかけしますが、HPとメールを使って、意見交換をさせていただきます。設定しました期間(5月18日から29日)は決して長くはありませんが、活発な質疑応答をお願いします。いただきましたご意見、ご質問にはできるだけ丁寧に回答させていただくと共に、次年度以降の活動に反映させていただきます。

日本沙漠学会 会長 吉川 賢

## 1. 2019年度事業経過・決算・会計監査報告

### (1) 2019年度事業報告

#### 1) 会務報告

a. 会員 2020年3月31日現在、会員数は以下の通り。

名誉会員： 3名<sup>補足1</sup>

正会員： 217名（入会4名，退会56名）<sup>補足2</sup>

学生会員： 25名（入会4名，退会19名）

賛助会員： 4社

購読会員： 5機関（1機関減）

#### b. 会議

##### (a) 日本沙漠学会 2019年度総会

・2019年5月25日（土），東京農業大学にて開催した。総会の概要を「おあしす」No. 106（2019年6月）に掲載した。

##### (b) 評議員会（第32回）

・2019年4月20日（土），日本橋公会堂において開催した。議事概要を「おあしす」No. 104（2019年6月）に掲載した。

##### (c) 理事会

・第139～143回理事会を開催した。第139，140回議事録を「おあしす」No. 106（2019年6月）に，第141回議事録を「おあしす」No. 107（2019年9月）に，第142回議事録を「おあしす」No. 108（2019年12月）に，第143回議事録を「おあしす」No. 109（2020年3月）に各々掲載した。

##### (d) 編集委員会

・沙漠研究 Vol. 29 No. 1～Vol. 29 No. 4 を編集し発行した。  
・2019年5月24日（金）東京農業大学世田谷キャンパスにて拡大編集委員会を開催した。さらにE-mailによって委員会内における審議を行った。

##### (e) 学会賞審査委員会

・2019年度の学会賞審査委員会をメール審議で行った。また2019年5月25日（土），第30回学術大会におけるベストポスター賞の審査を行った。

##### (f) 創立30年記念事業推進委員会

・創立30年記念式典・特別検討会の開催に関する諸活動を行った。  
・沙漠学事典の編纂に関する諸活動を行った。<sup>補足3</sup>  
・Review論文掲載に関する諸活動を行った。

##### (g) 学会会員数減少への対策検討委員会

・委員会内においてメールにより情報交換を行い，理事会にて対策案を提案した。  
・「展望論文，講座・解説への寄稿のお願い」をおあしすNo. 108に掲載した。

#### 2) 刊行物

a. 日本沙漠学会誌「沙漠研究」

・Vol. 29 No. 1（2019年6月），Vol. 29 No. 2（2019年9月），  
Vol. 29 No. 3（2019年12月），Vol. 29 No. 4（2020年3月）

b. ニュースレター「おあしす」

- ・ No. 106 (2019年6月), No. 107 (2019年9月)  
No. 108 (2019年12月), No. 109 (2020年3月)
  - c. 日本沙漠学会講演要旨集
    - ・ 第30集 (第30回学術大会, 2019年5月25日～5月26日)
  - d. 学会ホームページおよび会員へのメール配信による情報提供
    - ・ 学会ホームページによる活動状況に関する情報提供を行った。理事会, 分科会, シンポジウム, 関連学協会の催事等の開催案内と報告等をタイムリーに掲載し更新した。
  - 3) 講演会及び研究会等の開催**
    - a. 第30回学術大会
      - ・ 2019年5月25日(土)～5月26日(日), 東京農業大学において一般研究発表(口頭発表13題, ポスター発表13題)を行った。ポスター発表のうち2つがベストポスター賞を受賞した。学会賞(1名)および学術論文賞(1名)の授与式ならびに受賞者講演会を行った。
    - b. 創立30年記念式典・特別検討会
      - ・ 2019年5月25日(土), 東京農業大学において, 日本地理学会会長 村山祐司氏, 日本緑化工学会会長 福永健司氏(代理: 日本緑化工学会理事 橘隆一氏), 日本熱帯農業学会会長 縄田栄治氏(代理: 日本熱帯農業学会副会長 志和地弘信氏), 日本砂丘学会会長 山本定博氏を来賓として創立30年記念式典を行った。式典では, 特別顕彰「功労賞」を13名に授与し, 感謝状を5社および1名に贈呈した。また北村義信会員による記念講演を行った。
      - ・ 2019年5月26日(日), 東京農業大学において特別検討会「新たな沙漠研究を展望する」を開催した。
    - c. 2019年度秋季シンポジウム
      - ・ 2019年10月20日(日), 沙漠誌分科会による企画で開催した(沙漠誌分科会の活動報告を参照)。
    - d. Desert Technology XIV 開催準備
      - ・ 2020年9月8日(火)～9月11日(金), 静岡県賀茂郡松崎町にて開催予定。
      - ・ 新型コロナウイルス感染症対策を鑑みて対応を検討中。
    - e. その他
      - ・ なし
  - 4) 分科会等の活動**
    - a. 沙漠工学分科会 (2020年3月31日現在, 登録者数: 147名)
      - 会長: 田島 淳 (東京農業大学)
      - 幹事: 鈴木伸治 (東京農業大学)
      - 連絡先 (事務局): 〒156-8502 世田谷区桜丘 1-1-1  
東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科  
Tel: 03-5477-2351, Fax: 03-5477-2620  
E-mail: s4suzuki@nodai.ac.jp
- 活動実績: 2020年2月に第33回講演会行う予定であったが, 新型コロナウイルス

スの感染予防のため、開催を見送った。

b. 乾燥地農学分科会（2020年3月31日現在，登録者数：184名）

会長：石川祐一（秋田県立大学）

連絡先（事務局）：〒914-0041 東京都町田市玉川学園 8-3-23

（株）アースアンドヒューマンコーポレーション気付

FAX：018-872-1677

E-mail：owner-cadal@ijjnet.or.jp

活動実績：(1) 2019年12月5日，第28回講演会「沙漠化対処のまたまた温故知新」のテーマで開催した。話題提供者と演題は石川祐一(秋田県立大学)「沙漠化の現状」，田中賢治(国土防災技術(株)執行役員)「フルボ酸等の高分子化合物の利用」，迹目(ニゲメ)英正((株)デザインウォーター「淡水化技術」，飯田哲也(認定NPO 法人環境エネルギー政策研究所)「太陽光発電の現状と営農型ソーラーの乾燥地利用の可能性」である（以上，敬称略）。41名の参加者を得た。(2) 学会ニューズレター「おあしす」内の記事として分科会機関紙「CADAL ニュース」第65号を掲載した。(3) 分科会の活動状況をさらに広く周知するための情報発信法として，分科会 Web ページを学会ホームページ下に移設した。(4) メーリングリストを開設・運用している。関連する講演会・シンポジウムの開催および参加者の情報提供等に利用されている。

c. 沙漠誌分科会（2020年3月31日現在，登録者数：63名）

会長：縄田浩志（秋田大学国際資源学部）

連絡先（事務局）：〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号（縄田研究室）

E-mail：sabakushi.c@gmail.com

活動実績：(1) 2019年10月20日（日），横浜情報文化センター「情文ホール」において，秋季シンポジウム「半世紀前の写真資料の研究活用：サウディ・アラビア，ワーディ・ファーティマ地域における再調査から」（横浜市）を開催した。

(2) 2020年3月30日（月），沙漠誌分科会総会を，新型コロナウイルス感染症対応のためメール審議にて開催した。(3) 沙漠研究の特集論文として，2018年10月開催の研究会「サウディアラビア，ワーディ・ファーティマ半世紀前の記録とその活用に向けた方法論の検討」に関する小特集を企画，投稿，査読中。

d. 風送ダスト研究会（2020年3月31日現在，会員数：12名）

会長：黒崎泰典（鳥取大学）

連絡先（事務局）：〒680-0001 鳥取市浜坂 1390

鳥取大学 乾燥地研究センター

TEL：0857-21-7032， FAX：0857-29-6199

活動実績：2019年5月29日，東京大学農学部1号館生圏システム学専攻会議室において，研究集会”Researches for Dust Emission in East Asia”を開催した。

発表件数は3件，参加者数は10名であった。当日のプログラムは以下の通り。

(1) Field observation and 0-dimensional model simulation of sand saltation at Tsogt-Ovoo, Mongolia: Mainly focusing on stone effect (B. Buyantogtokh, Tottori Univ.), (2) Inter-annual variation of aeolian erodibility at Tsogt-Ovoo,

Mongolia: Integration of ecosystem modeling and observational evidence (K. Kong, Nagoya Univ.), (3) Effect of vegetation on dust emission in East Asian rangeland (A. Kono, The Univ. of Tokyo).

5) 国内外の研究者・関係機関との交流及び協力

- a. 日本地球惑星科学連合の活動に協力.
- b. 地理学連携機構・地理関連学会連合への協力.

補足：

(対面での説明が難しい状況であるため、報告事項中の番号に対応させ、以下に説明を加えます)

1. 名誉会員の門村先生がご逝去されたとの情報をいただいております。詳細をご存知の方は事務局までお知らせください。なお、「地理学評論 Vol. 93, No. 1 2020年1月」に訃報が掲載されているようです。上記にアクセスできる方は、お手数をおかけいたしますが、コピーを事務局までお送りくださいますようお願いいたします。
2. 3年以上会費が未納だった46名の会員（正会員38名、学生会員8名）について、督促後も会費の納入がなかったため、2019年10月末日を以って退会処理をしました。退会者にはこれらの人数が含まれています。
3. 「沙漠学事典」について、2020年7月末に出版を予定しています。

## (2) 2019年度決算報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：円)

	費目	決算額	予算額	対予算額増減	備考
収入の部	繰越金	7,153,442	7,153,442		
	会費	2,777,000	2,632,000	145,000	
	1) 入会金	9,000	20,000	-11,000	正会員5名 学生会員4名
	2) 正会員費	2,528,000	2,152,000	376,000	181名+前受過年度135件
	3) 学生会員費	90,000	200,000	-110,000	9名+前受過年度9件
	4) 購読会員費	50,000	60,000	-10,000	5件
	5) 賛助会員費	100,000	200,000	-100,000	2社
	助成金	0	0	0	
	その他収入	396,809	370,000	26,809	
	1) 出版費	286,000	360,000	-74,000	
2) その他	110,809	10,000	100,809	沙漠の事典印税、利息他、DT立替代金	
	(小計)	3,173,809	3,002,000	171,809	
	合計	10,327,251	10,155,442	171,809	
支出の部	加盟団体会費	10,000	10,000	0	日本地球惑星科学連合年会費
	学会誌発行費	2,766,228	1,700,000	1,066,228	
	1) 印刷費	2,660,200	1,600,000	1,060,200	Vol. 28(3), Vol. 28(4), Vol. 29(1), Vol. 29(2)+DT特別号
	2) 発送費	106,028	100,000	6,028	発送手数料・メール便
	活動準備金	442,778	505,000	-62,222	
	1) 大会預託金	200,000	200,000	0	第30回大会東京農大、第31回大会岡山大学
	2) シンポジウム預託金	90,720	100,000	-9,280	秋季シンポジウム(横浜情報文化センター)
	3) 分科会交付金	152,058	205,000	-52,942	分科会(乾燥地農学・沙漠誌分科会)
	表彰費	2,500	20,000	-17,500	
	会議費	11,512	12,000	-488	理事会会場費
	事務運営費	267,261	510,000	-242,739	
	1) 通信・輸送費	91,185	100,000	-8,815	振込手数料 会費請求等郵送料
	2) 印刷費	115,282	100,000	15,282	総会・会議資料 選挙関連印刷発送費
	3) 事務費	794	50,000	-49,206	消耗品費用等
	4) 交通費	60,000	200,000	-140,000	理事会旅費
	5) 諸雑費	0	60,000	-60,000	Webサーバー管理費等
	学会業務等外部委託費	498,960	498,960	0	
30年記念事業準備金	426,888	1,500,000	-1,073,112		
予備費	0	200,000	-200,000		
	(小計)	4,426,127	4,955,960	-529,833	
	次年度繰越金	5,901,124	5,199,482	701,642	
	合計	10,327,251	10,155,442	171,809	

### (3) 貸借対照表および監査報告

#### 貸借対照表

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
郵便振込口座	4,153,262	借入金	0
三菱UFJ銀行	1,721,806	次期繰越金	5,901,124
現金	26,056		
合計	5,901,124	合計	5,901,124

#### 会計監査報告

日本沙漠学会2019年度会計報告に基づき、帳簿・帳票類を監査したところ、適正に運営されたことを確認いたしました。

2020年3月31日

日本沙漠学会 監事 田中 徹  
日本沙漠学会 監事 矢沢 勇樹





## 2. 2020～2022 年度日本沙漠学会役員選出結果の報告および新規役員の提案

会 長	森尾貴広				
副 会 長	鈴木伸治	田中 徹			
監 事	渡邊文雄	豊田裕道			
理 事 (総務担当)	島田沢彦	田島 淳			
(財務担当)	高橋新平	矢沢勇樹 <sup>○</sup>			
(編集担当)	川端良子	小島紀徳			
(企画担当)	小長谷有紀	石川祐一			
(学会賞担当)	渡邊三津子	的場泰信 <sup>○</sup>			
評 議 員	安部 豊	石川祐一	入江光輝	牛木久雄	川端良子
	小島紀徳	児玉香菜子	小長谷有紀	酒井裕司	真田篤史
	篠原 卓	島田沢彦	白石雅美	菅沼秀樹	鈴木伸治
	高橋新平	田島 淳	田中 徹 <sup>○</sup>	豊田裕道	縄田浩志
	平田昌弘	藤巻晴行	的場泰信 <sup>○</sup>	三木直子 <sup>○</sup>	森尾貴広
	森 卓 <sup>○</sup>	矢沢勇樹 <sup>○</sup>	依田清胤	渡邊文雄	渡邊三津子
顧 問	安部征雄	森 卓			

理事と評議員のうち、<sup>○</sup>は会長選任。それ以外は選挙当選者。顧問は理事会で選任。

委 員 会 (参考, 2020 年 4 月 11 日現在) <sup>補足 4</sup>

総務委員会 (※1 委員長)

島田沢彦 (Web Master) <sup>※1</sup> 田島 淳 真田篤史 篠原 卓

財務委員会 (※1 委員長)

高橋新平<sup>※1</sup> 矢沢勇樹

編集委員会 (※1 委員長 ※2 名誉委員長 ※3 副委員長 ※4 おあしす担当)

川端良子<sup>※1</sup> 安部征雄<sup>※2</sup> 小島紀徳<sup>※2</sup> 酒井裕司<sup>※3</sup> 安部 豊

島田沢彦<sup>※4</sup> 田島 淳<sup>※4</sup>

企画委員会 (※1 委員長)

小長谷有紀<sup>※1</sup> 石川祐一

学会賞審査委員会 (※1 委員長 ※2 幹事)

渡邊三津子<sup>※1</sup> 的場泰信<sup>※2</sup>

分科会長 (※1 沙漠工学 ※2 乾燥地農学 ※3 沙漠誌 ※4 風送ダスト)

田島 淳<sup>※1</sup> 石川祐一<sup>※2</sup> 縄田浩志<sup>※3</sup> 黒崎泰典<sup>※4</sup>

### 3. 2020年度事業計画(案)・予算(案)

#### (1) 2020年度事業計画(案)

##### 1) 会務

a. 会員 2020年4月1日現在, 会員数は以下の通り.

名誉会員 :	3名	正会員 :	217名
学生会員 :	25名	賛助会員 :	4社
購読会員 :	5機関		

##### b. 会議

(a) 日本沙漠学会 2020年度総会

・2020年5月18日(月), 学会HPおよびメールを利用して開催\*.

(b) 評議員会(第33回)

・2020年4月13日(月)メール会議にて開催\*.

(c) 理事会(第144回)

・2020年4月11日(土)Web会議にて開催\*. 他3回の開催\*.

(d) 総務委員会 適宜開催する.

(e) 財務委員会 適宜開催する.

(f) 編集委員会

・適宜開催する. 拡大編集委員会は, 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い開催しない.

・学会誌の冊子体の在り方, およびWeb書誌データベースへの掲載について検討する.

(g) 企画委員会 適宜開催する.

(h) 学会賞審査委員会

・適宜開催する. 第31回学術大会におけるベストポスター賞は, 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い設けない.

(i) 創立30年記念事業推進委員会 適宜開催する.

(j) 学会会員数減少への対策検討委員会, 外部資金獲得のためのタスクフォース

・適宜開催する.

(k) 会則等改定委員会 会長の要請により適宜開催する.

##### 2) 刊行物

a. 日本沙漠学会誌「沙漠研究」

・J-Stageへの掲載(4回), 合本の刊行(1回)<sup>補足5</sup>

Vol. 30 No. 1 (2020年6月), Vol. 30 No. 2 (2020年9月),

Vol. 30 No. 3 (2020年12月), Vol. 30 No. 4 (2021年3月)

b. ニュースレター「おあしす」

・学会HPに掲載(4回)

No. 110 (2020年6月), No. 112 (2020年9月),

No. 113 (2020年12月), No. 114 (2021年3月)

c. 日本沙漠学会講演要旨集

- ・第 31 集（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い，学会 HP に掲載する）\*
- d. Web ニュースレターの適宜発行
- e. 日本沙漠学会ホームページの適宜更新，入会案内の更新.
- 3) 講演会等の開催**
- a. 第 31 回学術大会\*
  - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い中止する.
- b. 秋季シンポジウム
  - ・2020 年 11 月，乾燥地農学分科会による企画で開催予定.
- c. Desert Technology XIV 開催準備.
  - ・新型コロナウイルス感染症対策のため，当初の予定（2020 年 9 月 8 日（火）～9 月 11 日（金））を延期し，2021 年秋に静岡県賀茂郡松崎町にての開催を進める.
- d. その他
  - ・適宜ミニシンポジウムを開催.
- 4) 分科会講演会等の活動**
- a. 沙漠工学分科会
  - ・2020 年 12 月ごろに第 33 回沙漠工学分科会講演会を開催予定.
  - ・分科会会員と関連団体組織等との交流（共同研究等）.
- b. 乾燥地農学分科会
  - ・2020 年 11 月に第 29 回乾燥地農学講演会を開催（学会秋季シンポジウムと共催予定）
  - ・分科会機関誌「CADAL ニュース」第 66 号をおあしすに掲載
- c. 沙漠誌分科会
  - ・2020 年 5 月（予定），新型コロナウイルス感染症の影響により延期した研究会「フリー&オープンソースソフトウェアを用いたフィールドワークと分析の実践」（東京都・板橋区）を主催する.
  - ・7 月 23 日（木）～7 月 29 日（水）モンゴル，ホスタイ開催国際ワークショップ「中央アジア牧畜文化の再評価」を共催する.
  - ・沙漠研究の特集論文として，2018 年 10 月開催の研究会「サウディアラビア，ワーディ・ファーティマ半世紀前の記録とその活用に向けた方法論の検討」に関する小特集への投稿を継続. 2019 年度秋季シンポジウム「半世紀前の写真資料の研究活用：サウディ・アラビア，ワーディ・ファーティマ地域における再調査から」に関する小特集を企画，投稿. 2020 年 7 月開催予定の国際ワークショップ「中央アジア牧畜文化の再評価」に関する小特集を企画，投稿.
- d. 風送ダスト研究会
  - ・風送ダストに関連する研究会を 1～2 回程度開催する.
  - ・日本地球惑星科学連合 2021 年大会（JpGU Meeting 2021）において，日本沙漠学会学協会セッションとしての風送ダストに関連するセッションの提案を

計画している。

5) 国内外の研究者・関係機関との交流及び協力

- a. 日本地球惑星科学連合の活動に協力。
  - ・JpGU-AGU2020 大会（Web 上での開催）における学協会セッションを風送ダスト研究会の企画として共催。
- b. 地理学連携機構・地理関連学会連合活動への協力。
- c. その他 国内外の講演会等への協力・関係機関との交流及び協力。

6) その他本会の目的達成のための事業

必要な事業を随時開催。

補足：

4. 委員会について、資料には参考として挙げていますが、現時点で候補として挙げられているメンバーです。総会で役員が承認された後、必要なメンバーにて委員会を構成します。
5. 財政立て直しの一環として支出を抑える観点から、冊子体は4号分を合本して、毎年度3月に会員に届けることとします。今後の学会誌の発行は基本的にはオンラインで行いますが、冊子体での購読を希望する会員や冊子体を必要とされる会員が居られることを考慮し、4号分を合本として年1回発行し、郵送します。オンライン化の最も大きな目的は、学会の財務状況の改善です。今後冊子体の発行に関わる経費を精査し、支出削減を目指します。その他のメリットとしては、掲載論文等の検索が容易になることです。これは現在も J-stage で実施していることですが、今後は学会誌の発行と同時に可能となります。また、将来的には投稿料の減額の可能性も検討いたします。さらに HP の活用が盛んになると考えておりますので、HP 上での学会活動の活性化が図れます。

冊子体がオンライン出版と同時に入手出来ないということになりますが、この点は会員へのサービスを向上させることで、会員である事の特典感を維持していく予定です。掲載論文のアクセスが容易になることで、論文の質が向上し、学会誌の評価も高くなることが予想されます。したがって、このオンライン化は、日本の沙漠学研究を発展させ、世界をリードする学会にするための第一歩と考えております。

## (2) 2020 年度予算 (案)

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

(単位：円)

	費目	予算額	前年度決算額	対前年度額増減	備考
収入の部	繰越金	5,901,124	7,153,442	-	
	会費	2,221,000	2,777,000	-556,000	
	1) 入会金	10,000	9,000	1,000	新規会員10名想定
	2) 正会員費	1,736,000	2,528,000	-792,000	正会員数(2020.4.1現在)217名
	3) 学生会員費	125,000	90,000	35,000	学生会員数(2020.4.1現在)25名
	4) 購読会員費	50,000	50,000	0	5件
	5) 賛助会員費	300,000	100,000	200,000	4社(6件)
	その他収入	370,000	396,809	-26,809	
	1) 出版費	360,000	286,000	74,000	原著論文2報×4号
	2) その他	10,000	110,809	-100,809	利息、沙漠の辞典印税等
(小計)	2,591,000	3,173,809	-582,809		
合計	8,492,124	10,327,251	-1,835,127		
支出の部	加盟団体会費	10,000	10,000	0	日本地球惑星科学連合団体年会費
	学会誌発行費	1,425,000	2,766,228	-1,341,228	
	1) 印刷費	1,400,000	2,660,200	-1,260,200	「沙漠研究」年間4号発行 (冊子体として年一回合本作成)
	2) 発送費	25,000	106,028	-81,028	発送手数料・メール便・郵送料
	活動準備金	305,000	442,778	-137,778	
	1) 大会預託金	0	200,000	-200,000	第31回大会預託金は2019年度支出済みのため
	2) シンポジウム預託金	100,000	90,720	9,280	シンポジウム開催経費
	3) 分科会交付金	205,000	152,058	52,942	3分科会
	表彰費	20,000	2,500	17,500	学術賞表彰状作成
	会議費	12,000	11,512	488	評議員会・理事会経費
	事務運営費	500,000	267,261	232,739	
	1) 通信・輸送費	100,000	91,185	8,815	振込手数料 会費請求等郵送代
	2) 印刷費	100,000	115,282	-15,282	総会・会議資料
	3) 事務費	50,000	794	49,206	消耗品費等
	4) 交通費	200,000	60,000	140,000	
	5) 諸雑費	50,000	0	50,000	Webサーバー管理費等
学会業務等外部委託費	498,960	498,960	0		
30年記念事業準備金	0	426,888	-426,888		
予備費	100,000	0	100,000		
(小計)	2,870,960	4,426,127	-1,555,167		
次年度繰越金	5,621,164	5,901,124	-279,960		
合計	8,492,124	10,327,251	-1,835,127		

#### 4. 学会賞審査報告

該当者なし.

#### 5. その他

## 2017～2019 年度日本沙漠学会役員

会 長	吉川 賢				
副 会 長	渡邊文雄	森尾貴広			
監 事	矢沢勇樹	田中 徹			
理 事 (総務担当)	鈴木伸治	島田沢彦			
(財務担当)	中村 徹	高橋新平			
(編集担当)	酒井裕司	小島紀徳			
(企画担当)	窪田順平	小長谷有紀			
(学会賞担当)	豊田裕道	渡邊三津子			
評 議 員	石川祐一	今村 薫	岩本 彰	牛木久雄	小長谷有紀
	川端良子	北村義信	窪田順平	小島紀徳	児玉香菜子
	酒井裕司	島田沢彦	白石雅美	菅沼秀樹	鈴木伸治
	高橋新平	田島 淳	橘 隆一	豊田裕道	中村 徹
	縄田浩志	平田昌弘	藤巻晴行	的場泰信	三木直子
	森尾貴広	矢沢勇樹	吉川 賢	渡邊文雄	渡邊三津子
顧 問	安部征雄	岩本 彰			

### 委 員 会 (参考)

#### 総務委員会 (\*1 委員長)

鈴木伸治\*1 島田沢彦 (Web Master) 橘 隆一

#### 財務委員会 (\*1 委員長)

高橋新平\*1 中村 徹

#### 編集委員会 (\*1 委員長 \*2 名誉委員長 \*3 副委員長 \*4 おあしす担当)

酒井裕司*1	安部征雄*2	小島紀徳*2	川端良子*3	石川祐一
石山 隆	入江光輝	甲斐憲次	加藤 茂	北村義信
斉藤昌宏	佐藤周一	島田沢彦*4	周 建中	白石雅美
菅沼秀樹	鈴木伸治*4	高橋新平	豊田裕道	中村 徹
縄田浩志	平田昌弘	的場泰信	三木直子	森尾貴広
吉川 賢	渡邊三津子			

#### 企画委員会 (\*1 委員長)

窪田順平\*1 小長谷有紀

#### 学会賞審査委員会 (\*1 委員長 \*2 幹事)

豊田裕道\*1 渡邊三津子\*2 上原有恒 平田昌弘

#### 分科会長 (\*1 沙漠工学 \*2 乾燥地農学 \*3 沙漠誌 \*4 風送ダスト)

田島 淳\*1 石川祐一\*2 縄田浩志\*3 黒崎泰典\*4

## 日本沙漠学会名誉会員

安部征雄

都留信也

真木太一

### 学 会 事 務 局

日本沙漠学会事務局は、下記の機関において役割分担しています。用件の内容に応じて担当にご連絡下さい。

#### 【日本沙漠学会事務局】

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2F 株式会社共立内

Tel : 03-3551-9896 Fax : 03-3553-2047 Email : jaals@kyouritsu-online.co.jp

#### 【日本沙漠学会編集事務局】

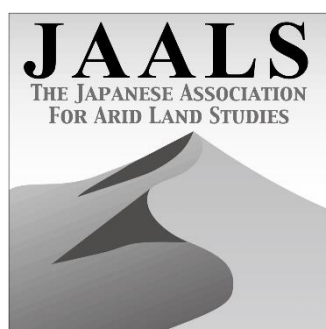
〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2F 株式会社共立 三角誠司気付

Tel : 03-3551-9896 Fax : 03-3553-2047 E-mail : jals.editorial@kyouritsu-online.co.jp

#### 【日本沙漠学会ホームページアドレス】

<http://www.jaals.net/>





日本沙漠学会